

エストリオール錠 1mg 「F」

【この薬は？】

販売名：エストリオール錠 1mg 「F」 (ESTRIOL tablets)

一般名：エストリオール (Estriol)

含有量 (1錠中)：1mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、卵胞ホルモン剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、不足した卵胞ホルモンを補充することによって、ホルモンバランスを整え、更年期障害や膣炎などを改善します。
- ・この薬は、骨の量の減少を抑制します。
- ・次の病気の人に処方されます。

更年期障害、膣炎（老人、小児及び非特異性）、子宮頸管炎並びに子宮腔部びらん、老人性骨粗鬆症

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・エストロゲン依存性悪性腫瘍（乳癌、子宮内膜癌）のある人またはその疑いのある人
- ・過去に乳癌と診断された人

- ・子宮内膜増殖症（治療中あるいは治療が終了していない）のある人
 - ・血栓性静脈炎の人、肺塞栓症の人、または過去にこれらの病気と診断された人
 - ・動脈性の血栓塞栓疾患（冠動脈性心疾患、脳卒中）のある人、または過去にこれらの病気と診断された人
 - ・肝臓に重篤な障害のある人
 - ・診断の確定していない異常性器出血のある人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
- ・肝臓に障害のある人
 - ・子宮に筋腫のある人
 - ・子宮内膜症のある人
 - ・心臓や腎臓に病気のある人または過去に心臓や腎臓の病気と診断されたことがある人
 - ・てんかんのある人
 - ・糖尿病の人
 - ・現在身長が伸びている人、思春期前の人
 - ・血縁に乳癌にかかった人がいる人、乳房にしこりのある人、乳腺症のある人、乳房のレントゲン像に異常がみられた人
 - ・手術を予定している人、長期間病床にある人
 - ・全身性エリテマトーデスの人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- この薬の使用前に乳房や婦人科の検査（子宮のある人では子宮内膜細胞診および超音波検査による子宮内膜厚の測定を含む）が行われます。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

〔更年期障害、腔炎（老人、小児及び非特異性）、子宮頸管炎並びに子宮腔部びらんを使用する場合〕

通常成人 1 回 0.1～1.0mg を 1 日 1～2 回飲みます。

〔老人性骨粗鬆症に使用する場合〕

通常 1 回 1 mg を 1 日 2 回飲みます。

この薬の使用後 6 カ月～1 年後に骨密度の検査が行われます。

●どのように飲むか？

コップ 1 杯の水またはぬるま湯と一緒に飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1 回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は 1 回とばして、次の時間に 1 回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・外国において、卵胞ホルモン剤（この薬が属するグループ）と黄体ホルモン剤を併用した場合、その期間が長くなるにしたがって乳癌になる危険性が高くなるとの報告があります。したがって、本剤と黄体ホルモン剤を併用して服用する場合においては、その併用の必要性および注意すべき点等について、医師から十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ・定期的に乳房や婦人科の検査（子宮のある人では子宮内膜細胞診および超音波検査による子宮内膜厚の測定を含む）が行われます。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
血栓症 けっせんしょう	下肢のむくみ、足の激しい痛み、頭痛、胸の痛み、視力の低下、胸をしめつけられる感じ、はれ、吐き気、発熱、息切れ、激しい腹痛

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用の表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱
頭部	頭痛
眼	視力の低下
口や喉	吐き気
胸部	吐き気、息切れ、胸の痛み、胸をしめつけられる感じ
腹部	吐き気、激しい腹痛
手・足	下肢のむくみ、足の激しい痛み
皮膚	はれ

【この薬の形は？】

PTP シート	
形状	円形の割線入り錠剤 
直径	8mm
厚さ	2.9mm
重さ	200mg
色	白色
識別コード	FJ02

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	エストリオール
添加物	乳糖水和物、バレイショデンプン、カルメロースカルシウム、ヒドロキシプロピルセルロース、タルク、ステアリン酸マグネシウム

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：富士製薬工業株式会社 (<http://www.fujipharma.jp/>)

学術情報課

電話番号：076-478-0032

受付時間：9時～17時

（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）